

毎月11日は

防災を**考**える日



令和6年5月号

「津波浸水高表示標識を設置しました」

津波浸水高表示標識は、東日本大震災の津波浸水高を公共施設などに表示することで、津波防災意識の高揚を図り、また、東日本大震災の伝承に役立てるため、公園などの公共用地 30 箇所、公共施設の壁面 5 箇所に設置しました。

ポール設置型のモニュメント部にはホヤぼーやを使用し、ポールには、東日本大震災時の浸水高を赤いラインで表示しています。また、標高、最大津波の想定として令和4年5月に宮城県が発表した津波浸水想定浸水深についても、それぞれ表示しています。（壁面も同様の内容で表示。）

■ 防災基礎クイズ

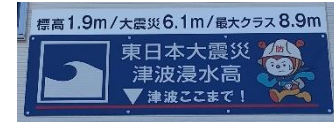
Q 海水浴場などで使われる「津波フラッグ」は、大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことをお知らせする旗である。○か×か？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■ 問い合わせ先／市危機管理課 防災安全係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 Email:kikikanri@kesenuma.miyagi.jp



ポール上部に設置されているホヤぼーやは、避難する方向を向いています